

社会システム土木系学科

募集予定

2人

わたしの
総合型選抜

故郷と似ている環境で、地域の防災について学びたい

僕の故郷・岡山県は、2018年7月の西日本豪雨による河川決壊や土砂崩れで大きな被害を受けました。それ以来、地域の防災・減災について思いを巡らすように。地域に密着した研究を行っている鳥大工学部には防災の研究分野があるし、同じ中国地方だから風土や環境も似ているのではないかと思います。志望しました。

1次面接はオンラインで実施されました。画面越しに話すのは高校のオンライン授業で慣れていただけ、願書に書いた内容を詳しく説明できていないのか、面接官に「それはどういこと?」「なぜ?」と突っ込まれて焦るばかり。文章や語順が乱れてもいいから、自分の中にある言葉を全部吐き出す勢いで伝え切ることが大事ですね。

2次はポイントを押さえた対策が大事。コツコツ!

過去の受験レポートにもあるとおり、やはり毎日のニュースチェックは重要!ただ目を通すだけではなく、必ず自分の考えを持つようにすると2次選考に活かれます。

小論文の練習は通っていた塾で見てもらいました。すると「説明が遠回りで分かりづらい」という指摘が。字数を稼ぐため、説明をだらだら書いていたんです。結論は端的に述べ、その後に続く理由の部分で字数を整えるよう教えてもらいました。

口頭試問では数学の出題が予想より難しく、ちょっと冷や汗。英語は、渡された英文を黙読・音読し、その後面接官の質問に答えるというもの。英文の内容はほぼ理解できたものの、質問に答えるのは難しかった。英語も基礎固めが大事ですよ。

2年

たにもと りょうた

谷本 涼太さん (岡山県立笠岡高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

鳥取駅前に湧く温泉でゆったり

市街地のご真ん中に温泉が湧いている鳥取市は、JR鳥取駅から徒歩圏内に温泉施設が幾つもあります。僕のお気に入り、源泉かけ流しの銭湯。最高に気持ちいいですよ。

全文は
Webで!

第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

小論文	新型コロナウイルス感染症に対する感染対策として、外出を控える高齢者が増えています。このような社会の状況に関して、超高齢社会の日本において高齢者の外出機会が減少することで発生する問題を挙げたうえで、その問題を軽減し、高齢者の安心、安全な暮らしを実現するために、どのような都市や地域づくりが必要であるかを60分間で論述するものでした(800字以内)。
プレゼンテーション	地域での課題について、口頭発表(5分程度)とその内容についての質疑を行いました。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり10分の面接を行いました。
口頭試問	3名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	
2次(プレゼンテーション)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	